

四旬節第3主日の説教

金 大烈 神父 2009年3月15日(日)

《聖 堂》

おはようございます。

説教に入る前に少し要理の勉強をしましょう。

今日の福音はイエス様が聖殿の前で商売をしている者達に怒られて物語です。この福音をもっと深く理解するために質問します。

これから私が話す単語の意味についてよく考えていただきたいと思います。『教会』『聖堂』『お御堂』『礼拝堂』この単語らにはどのような違いがあるのでしょうか？カトリックの信者であればこの言葉の違いは、はっきり説明出来れば良いと思います。

それでは、『教会』はなんのでしょうか？『教会』は無形の物です。形の無い物です。建物を意味する事ではありません。例えばカトリック教会、プロテスタント教会、正教会など、それはキリストを信じている人々の集まりとか、集まる人々の事を意味します。

ですから教会とは、集まる空間とか場所的な概念ではありません。聖堂が無くても教会は存在します。理解出来ましたか？次に聖堂・お御堂・礼拝堂の違いは何でしょうか？

私達が今ミサをしているこの場所は聖堂でしょうか？お御堂でしょうか？礼拝堂でしょうか？ここは聖堂です。『聖堂』と言えばカトリック教会のキリストの聖体が置かれているところを言います。『礼拝堂』はプロテスタントの教会が秘跡と関係なく礼拝・祈りをする場所を言います。『御堂』は仏像が置いてあるところです。しかしカトリック信者でも聖堂に入る事を、お御堂に入りますと言う習慣がありますが、それは間違いです。『御堂』と言う言葉は日本独特の言葉です。皆様、今日、私達は『聖堂』にいます。要理の勉強はこれで終わりにしましょう。

今日の福音(ヨハネ 2・13-25)で、イエス様は腹を立てましたね。なかなか見せない姿を見せています。怒られた理由はなんのでしょうか？神殿の前で商売をしたことで、心痛み、縄で鞭を作り払いながら追い出しました。このように激しく反応を見せたイエス様の姿はこの箇所しかありません。なぜこんなに腹を立てたのでしょうか？皆様もう一度質問します。

「教会、聖堂という言葉を使い出す時、浮かんで来るイメージはどのようなものなのでしょうか？」もっと易しく質問してみます。「皆様、聖堂に入ったら心が安らぎますか？慰められますか？力をいただけますか？」そうなる事が出来るのが『聖堂』です。

『聖堂』と聞いて思い出さなければいけないイメージは祈りが出来、休む事が出来る場所であり、そして励まされ、力をいただける場所です。そのイメージをどの位お持ちでしょうか？

皆様が個人的に主日のミサ以外に教会に来て祈った事は、今まで何回位ありますか？全然、明日のことが見えなくて困ったとき、良い方法や道が見つからなくなった時、聖堂に来て祈った事は何回位あるのでしょうか？あまりない人は聖堂で祈りの体験が出来なかったからだと思います。カトリック信者なら、「神様を信じています。天地の創造主を信じています。御聖体の神秘を信じています。」と言いながらも、この聖堂を大切にしないと、私達は本当の体験が出来ないと思います。皆様、聖堂は休められ、頼られ、力を頂ける聖なる場所です。なぜならそこには『御聖体』が安置されている場所だからです。祈って下さい。もちろん色々な静かな場所や時間に祈られます。しかし教会の中の聖堂の大切さも意識していただきたいと思います。聖堂は商売や社交の場でもありません。何よりも皆様が神様と一対一の関わりを作る場所です。そこから力を頂き、その力によって共同体生活が可能になります。まず力を頂いて方向をはっきり決めましょう。方向も意味もわからないで交わる事はありえない事です。私たちがこの聖堂に来ている意味を意識しましょう。疲れた時、頼られる場所、

休める場所として、走って行ける聖堂があるのを感謝しましょう。

この聖堂は祈る場所です。その祈りによって私達に必要なもの全てが与えられます。

四旬節もあと2週間位残っています。皆様の為にお願いします。平日のミサに沢山の方が与っています。まだ与った記憶の無い方は是非2週間の間に平日ミサを味わってみて下さい。その美しさを体験して下さい。

ミサはイエス様の為に捧げるものではありません。ミサは私達のためにイエスが生け贄として捧げられる祭儀です。そのミサに与って下さい。平日のミサを愛することになると思います。

復活祭まで残っている2週間の間、四旬節の意味を深めましょう。

ありがとうございました。